

LPデザイン案

トップページ



社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ AI設計

> 無料で始める

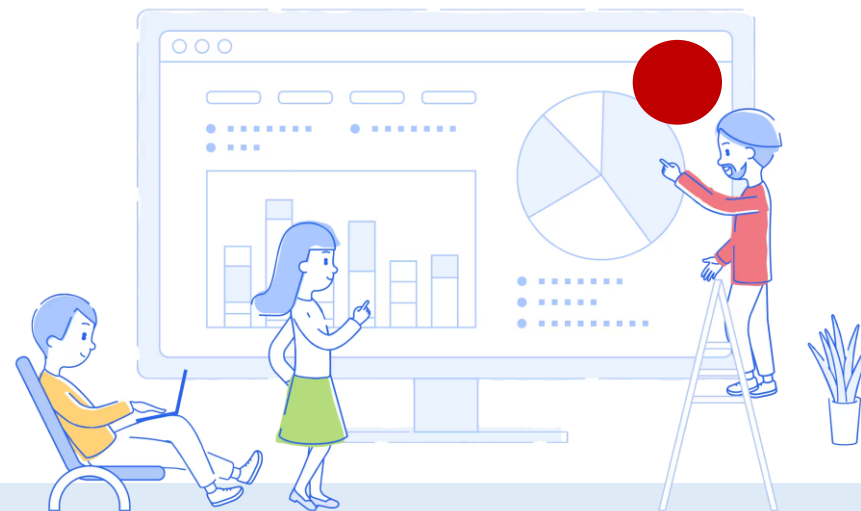
ログイン

スマートPLMのFile Tag Manager

タグを使ってデータ管理をもっと簡単に

散らばった成果物を集めて、企業のデータ管理をスマートに！

> 無料で始める



導入企業 急増中！

File Tag Managerとは

製造業向けに特化したデータ管理システムです
無料で使えるクラウドサービス！

社会のニーズと現状

サービス
アイコン

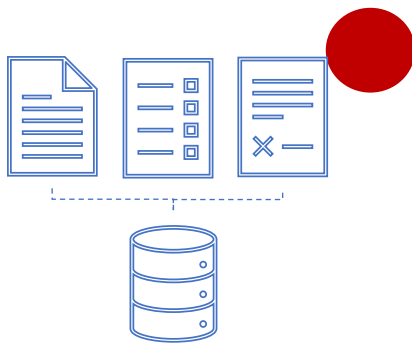
社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

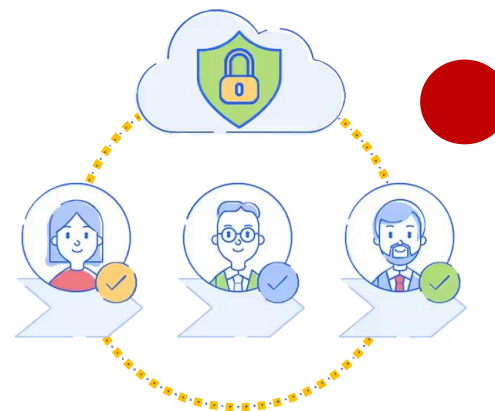
いま、市場不具合が起きても大丈夫？

製造業に求められる企画から出荷までの情報管理



成果物管理

抜け漏れなく全ての成果物を管理できていますか。
乱立する社内システムにデータが散らばっていたりデータを個人持ちしては正しい管理とは言えません。また次世代の開発に知見を活かすことも難しいでしょう。



監査対応・内部統制

ブラックボックスな状態になっていませんか。
急な担当者の変更、人依存の杜撰な成果物管理...。過去の情報をトレースできる状態を作っておかないと、有事のときに適切な対処がとれなくなります。



サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

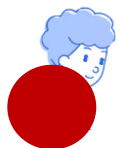
> 無料で始める

ログイン

散らばる情報

ひとつの製品を作っているはずなのに、やはり全社データの一元管理は難しい。
大手企業ほど陥るデータ管理の難しさがあります。

機密性が高く特別扱いがいる



企画・デザイン部門

機密性が高い情報を取り扱うため
見せられない成果物が多い。デー
タは独自システムで独自管理して
いる。全社共有なんて無理。

仕事の仕方がバラバラ



R&D部門

担当する設計領域により業務の内
容は全く異なるし、使うシステム
も異なる。情報一元化の重要性は
理解するけどなかなか難しい。

最新情報がキャッチできない



購買部門

そろそろ部品を発注したいけど設
計部門から情報が下りてこない。
最新情報が何か分からず毎度コ
ミュニケーションに苦労している。

根本的にホワイトカラーと違う



生産部門

情報一元管理がピンとこない。モ
ノづくりを担う我々にはデータと
しての成果物は少なく部内で管理
できれば十分。全社共有は大げさ。

関係部門が多岐に渡り個人依存



法規部門

法規の読み取りに齟齬がでないよ
う、設計部門と共有は必須だけど
決められた成果物管理のルールが
なく結局個人の裁量に依存する。

技術部門と壁がある



販売部門

市場ニーズを社内にフィードバッ
クしたいけど技術部門と壁がある。
直近リリース予定の製品の情報が
全く入ってこない。

特徴

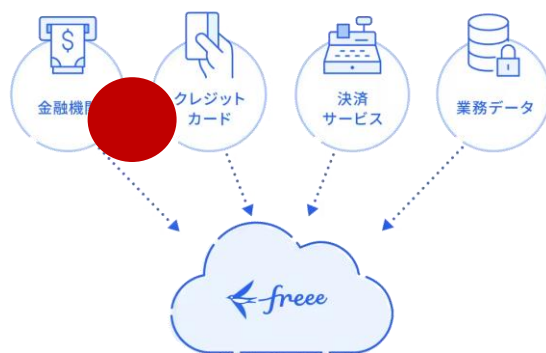
サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

File Tag Managerの特徴 実現できること



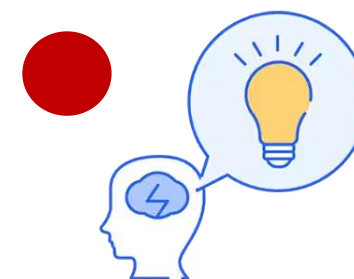
情報を一か所に

既存システムはそのまま活かし、成果物の保管場所（パス）をFile Tag Managerで集約します。物理的なデータはアップしない新たな管理手法です。



情報の民主化

誰かがパスを登録さえすれば、みんなが平等にそのデータへアクセスできる状態ができあがり。部署間の隔たりをなくし、担当者依存の成果物管理を根絶します。



知見を次世代の開発へ

次世代の製品開発に活かせる業務基盤になります。蓄積したデータを活用してこそPLMの本来の姿です。情報が一か所に集まればAI設計ももう手が届くところに。



利用者向け機能

全てのデータの入り口に

タグ付けてデータのパスを保管

既存システムから取得したURLや、フォルダのパスに必要なタグを付けます。
1つのシステムへ統合が難しかった各種データも無理なく集約することができます。

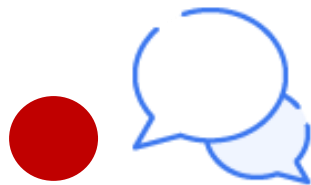
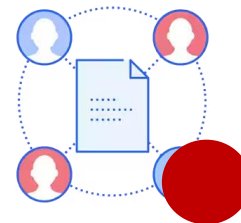
ファイルパス	保管先	#製品名	#説明	#開発ステージ	#担当者	
https://plm-sytem/document9384	PLM	〇〇型	デザインおよび企画書 機密性高し	企画フェーズ	企画	 小谷 愛
https://plm-sytem/document7364	PLM	△△型	エクステリア設計 DR報告書	設計・開発フェーズ	ボディ設計	 鈴木 直樹
¥ProductA¥設計¥PTY¥IssueList.xlsx	フォルダ	〇〇型	パワトレ設計 不具合管理リスト	設計・開発フェーズ	エンジン設計	 原 拓也
https://Seisan-SYS_ProductA/9838974	生産管理	◇◇型	生産計画（マスタデータ）	生産フェーズ	生技・生産	 児玉 大輔
¥ProductB¥設計フェーズ¥DR報告書	フォルダ	△△型	出荷判断に関わる検討&申請書	設計・開発フェーズ	内装設計	 竹下 愛美
https://wf_sytem/AieFueo9	CAD	◇◇型	CAD/Z3.2型エンジン（シリンダー）	設計・開発フェーズ	エンジン設計	 原 拓也
https://erp/estimate99872949	ERP	〇〇型	部品見積書 XYZパーツ	設計・開発フェーズ	購買	 伊藤 亮一

※PLM独自のタグを標準装備しています。タグはカスタマイズなしで自由に追加や変更が可能です
※二次利用を想定したデータ出力機能があります（CSV形式）
※File Tag Managerでは、物理的なデータはアップロードしません

特徴

開発情報を平等にシェア

登録したパスは、利用者全員に共有されます。
各データを**File Tag Manager**から開くときも、データのアクセス権は保存先のシステムやツールに依存します。**File Tag Manager**の採用により、既存システムに余計な手を加える必要はありません。

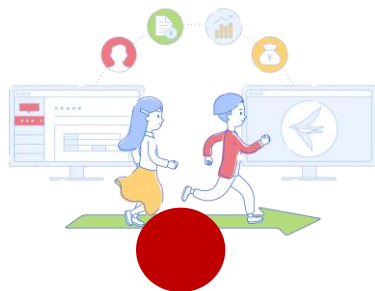
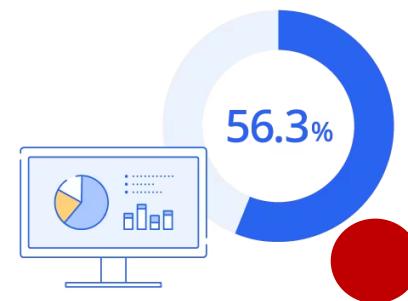


気付き機能で作業の抜け漏れ防止

チャット機能で円滑なコミュニケーションを支援します。
チャットの自動配信機能も搭載。作業開始日や終了日をタグで指定すれば、関係者に自動でチャットが配信されます。

実績がわかるレポート機能

データの登録状況を自由な視点で分かりやすく表現します。
製品別や、また部門別の集計を使って現状を正しく把握しましょう。



スピーディな検索

タグ付けされたデータを探すことはとても簡単です。
遠い昔の資料もストレスなく探し当てることができます。会議の最中に昔の資料が急に必要になるときありませんか？そんな時にも大活躍。

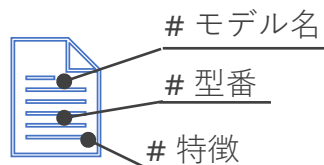
> 無料で始める

▶ イメージ動画を再生

特徴

システム管理者向け機能

システム管理者にも易しいシステムです

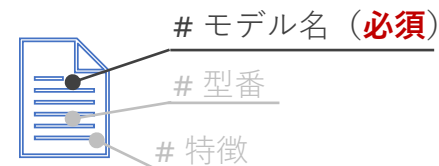


タグを自由にカスタマイズ

タグを自由に追加、変更することができます。
費用をかけずに業務に適したタグを作ることが可能です。

指定必須のタグを強制

必ず登録が必要なタグを設定することができます。
タグ付けの運用が定着せず有意義な検索キーに使えない...。そんなありがちな運用課題を発生させません。情報一元管理の実現にはその統制力が成功のカギです。



社内掲示板

利用者に対するメッセージを投稿することができます。
データ登録の催促やメンテナンス予定の告知など利用者のアナウンスに使えます。

手厚い導入サポート

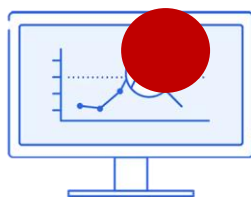
当社が運用が定着するよう支援します。
File Tag Managerを使ってPLMの本来の姿を構築すべく後押しします。

- 現運用をヒアリングと課題の洗い出し
- File Tag Managerを使った運用方法のご提案
- データ登録の代行
- 稼働後サポート ...など



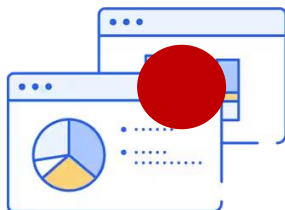
特徴

利用者に喜んでもらうために サービスのポリシー



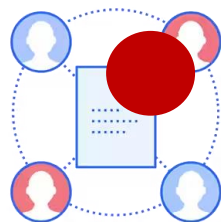
マニュアル要らずのシンプル設計

やさしい操作でデータ管理が行えるよう研究しました。
大ぶりのシステムではできない痒い所に手が届くそんなサービスです。
無駄のないユーザインターフェースを是非体感してください。



いまのシステム・データを捨てない。さらに活かせる

例えば、一般的なPLMシステムはあらゆる設計領域の業務をカバーし、データのアクセス権を自在にコントロールできる特殊なものです。
既存システムの特徴を活かしつつ、File Tag Managerではデータの保管場所（パス）を管理することで情報一元化が実現できるよう考えられています。



日本人の感覚に合うメイドインジャパンのツール

一般的なPLMシステムは業務への浸透に大きなハードルがあります。扱いきれず莫大な費用と労力だけを消費してしまいがちです。綺麗なPLM像を描いてもすべてのデータを1システムに集約することはそう簡単なことではありません。
そんなビッグシステムの導入を経験した当社が、PLMシステムの弱点を補うべく設計したツールです。きめ細やかで、そしてチープにならない素敵なサービスを提供します。

> 無料で始める

▶ イメージ動画を再生

価格

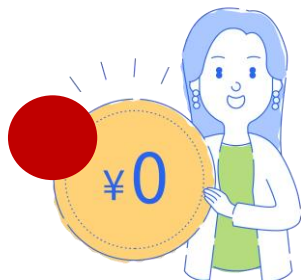
サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

価格・プラン



お手頃な料金で始めやすい

1社3名まで完全無料。
初期費用や解約料もかからないので安心して始められます。
4名以降で初めて月額料金が発生します。（1名につき2,680円/月）

実際に使ってみたい

- 1社3名まで完全無料で利用いただけます
- 3名以内なら無料期間に制限はなく、自動でお支払いが発生することは一切ございません
- 少人数から気軽に始めていただけます

> 無料で始める

担当者と相談したい

- 導入に関する疑問や不安、また自社に合った提案をご希望の場合にはお気軽にお問い合わせください
- システムのデモンストレーションや業務とのFit & Gapも実施いたします

お問い合わせ

自社専用にカスタムをしたい

- 既存システムと連携したい、欲しい機能がある。そんな場合もお気軽にお問い合わせください
 - オンプレミスでの構築も可能です
- ※ オンプレミスの場合は別のライセンス形態をご案内します

お問い合わせ

導入事例

サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

導入事例

たくさんの製造業者で利用されています

自動車部品メーカー H社 とにかくシンプルなのが良い

世の中には機能過多なシステムが多い中、File Tag Managerはできることが端的で分かり易い。現場への運用定着がとにかく早かった。



導入事例

サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

導入事例

たくさんの製造業者で利用されています

工作機械メーカー N社 データ一元管理の成功を実感した

まずは特定の自社製品の成果物管理からスタートし徐々に成果物の対象範囲を増やした。今では企画から出荷まで約3年かかる自社製品の成果物が「全てここにある！」と安心できている。



導入事例

サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

導入事例

たくさんの製造業者で利用されています

電子機器製造メーカー Y社 DRの会議中に助けられた

とある設計会議にて、急に過去の資料を見せる必要が
でてきたがすぐに対応ができた。あのデータどこ置い
たっけ？のシーンで本当に使える



導入事例

サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

▶ 無料で始める

ログイン

導入事例

たくさんの製造業者で利用されています

家電メーカー I社 費用面でも精神面でも導入が楽だった

作り込まれたレガシーシステムはそれなりに利用意図があって残っているもの。それがそのまま使えるのはありがたい。システムの大規模リプレイスにはもう懲り懲り。チーム内の共有はもうこれで十分。



よくある質問

サービス
アイコン

社会のニーズと現状 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

> 無料で始める

ログイン

よくある質問

- Q. データの所在地を管理するってどういうこと？
- A. **File Tag Manager**では実データは保存せず、パスやURLのみを取得し一覧化します。いわゆるメタ情報です。
例えば設計会議で使ったパワーポイントの説明資料の在り処や、**CAD**に入っている図面データの在り処など
「あれ、どこに置いたっけ？」のシーンでそのデータの所在地を瞬時に得ることが可能です。
-
- Q. 業務にフィットするか提案をしてほしい
- A. 喜んでお受けいたします。今の業務に**File Tag Manager**がどうマッチするのかを提案いたします。
-
- Q. 導入後のサポートは可能か？
- A. はい、可能です。詳細はお問合せください。
-
- Q. 既存システムとの連携はできるのか？
- A. はい、可能です。要件に応じて連携機能をカスタマイズして提供をいたします。
-
- Q. セキュリティは万全ですか？
- A. 安心・安全の**Google Cloud Platform**を採用しています。
高速かつ安定したインフラ環境と、強固なセキュリティで**PLM**業務を支えます。
-

お問い合わせ

サービス
アイコン

目的 特徴 価格 導入事例 よくある質問 お問い合わせ

ログイン

> 無料で始める

お問い合わせ



サービス
アイコン

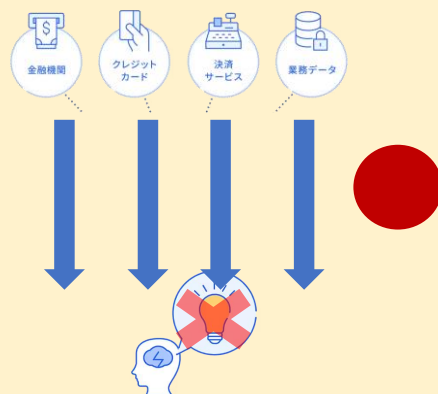
[社会のニーズと現状](#) [特徴](#) [価格](#) [導入事例](#) [よくある質問](#) [お問い合わせ](#)

> [無料で始める](#)

[ログイン](#)

近い将来に向けたAI設計

AI設計のインプット情報に、File Tag Managerのコンテンツを活用。

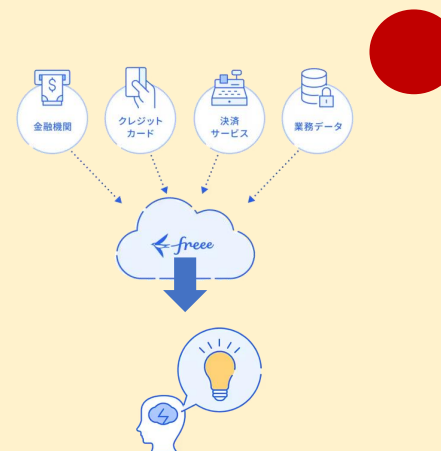


AI設計の実現のハードル

まずAIを活用するには必要な情報が集まっていることが大前提です。

一部の部署・一部の機能でならそれも可能かもしれませんが、いち製品の単位でAI設計を考えた時に全社の、そして過去の開発情報が集められている状態でしょうか。

AI設計にはまず情報を集めることにハードルがあります。



File Tag Managerならできること

物理的に1か所に集めるからそのハードルがあると当社は考えています。

File Tag Managerでデータの保存場所を集めれば実態データと共にそれがAIに学習させるためのコンテンツそのものになります。

最下部ページ